

平成31年度(2019)

第3年次編入

入学試験要項

入学願書郵送先：上野学園大学 入試広報部

〒110-8642 東京都台東区東上野 4-24-12

TEL. 03-3842-1024

アドミッション・ポリシー「求める学生像と入学者受入れの方針」

□第3年次編入学試験における入学者受け入れの方針は次のとおりである。

これまでに得た短期大学・大学での学びを土台として、専門性を深めていきたい人。または新たな分野の学修に展開させていきたいと希望する人。

目 次

- ◆試験概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p4
 - 募集人員
 - 募集コース
 - 出願資格
 - 選考方法
 - 試験会場
 - 検定料
 - 試験日程
 - 試験時間表の交付
 - 出願期間・提出方法
 - 合格発表日
 - 入学手続期間
 - 出願書類
 - 取得できる資格等
 - 併願について

- ◆入学金 / 学納金 / 奨学金等・・・・・・・・・・ p6
 - 入学金・学納金等について
 - 入学辞退
 - 特待生制度
 - 学生寮
 - 日本学生支援機構の奨学金
 - 各種教育ローン

- ◆入学試験科目について・・・・・・・・・・ p9
 - 試験科目詳細について
 - 課題曲発表時期について
 - 全コース共通の試験科目について
 - 各コース・各専門の試験科目について
 - 器楽コース
 - 声楽コース
 - グローバル教養コース
 - 演奏家コース 各専門の試験科目について
 - 専門を変更して受験する場合

- ◆「個人情報の取扱い」について・・・・・・・・ p15

- ◆出願書類
 - 入学願書
 - 個人調書
 - 専門実技曲目記入票
 - ・器楽コース / 声楽コース / グローバル教養コース（音楽学・音楽教育）志願者用
 - ・演奏家コース（ピアノ / 弦楽器 / 管楽器 / 打楽器 / オルガン・古楽の各専門）志願者用
 - ・演奏家コース（声楽専門）志願者用
 - 受験票

試験概要

■募集人員

若干名(予定) (全コース全専門) ※学内編入含む

■募集コース

器楽コース

- ・ピアノ
- ・弦楽器：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハープ
- ・管楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム
- ・打楽器
- ・オルガン・古楽：オルガン、チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、リコーダー

声楽コース

グローバル教養コース

- ・音楽学専門
- ・音楽教育専門
- ・文化創造マネジメント専門

演奏家コース

- ・ピアノ
- ・弦楽器：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハープ
- ・管楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム
- ・打楽器
- ・オルガン・古楽：オルガン、チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、リコーダー
- ・声楽

■出願資格

- (1) 大学音楽学部または音楽学科の第2年次修了者（または平成31年3月修了見込みの者）
- (2) 短期大学音楽科卒業生（または平成31年3月修了見込みの者）
- (3) 本学における大学音楽学部音楽学科の第2年次修了者、または短期大学部音楽科卒業生と同等以上の学力があると認められた者
- (4) 器楽コース、声楽コース、演奏家コースについては、大学あるいは短期大学において、専攻楽器の実技単位を8単位以上取得していること。
※専門学校を卒業（または平成31年3月修了見込みの者）し、本学の編入学を志望する場合は、出願期間前に成績証明書及び単位取得証明書（見込み含む）を提出（郵送可）してください。
単位認定について受験前に面談を要する場合があります。

■選考方法

- (1) 全コース共通の試験科目（ソルフェージュ・音楽理論・副科ピアノまたは副科器楽・面接）
・・・10ページ
 - (2) 各コース・各専門の試験科目
・・・11～13ページ
- 上記(1)、(2)のほか「成績証明書」「単位取得証明書」を総合的に判断して選考する。

■試験会場

本学校舎棟

■検定料

43,000円（単願） ※併願の場合 65,000円

■試験日程

器楽コース / 声楽コース / グローバル教養コース

平成31年2月4日（月） ～ 平成31年2月6日（水）

演奏家コース

平成31年2月6日（水） ～ 平成31年2月9日（土）

■試験時間表の交付

器楽コース / 声楽コース / グローバル教養コース

平成31年2月2日（土）12:00～15:00 または 平成31年2月4日（月）受付時

演奏家コース

平成31年2月5日（火）12:00～15:00 または 平成31年2月6日（水）受付時

※受取り（代理可）の際は受験票をご提示ください。

■出願期間・提出方法

平成31年1月7日（月） ～ 平成31年1月18日（金）

検定料納付後、下記記載の提出書類を市販の封筒に封緘し簡易書留にて郵送してください。

■合格発表日

器楽コース / 声楽コース / グローバル教養コース

平成31年2月8日（金）

演奏家コース

平成31年2月14日（木）

※合格結果については、上記発表日に本人宛に簡易書留で発送します。合格発表日より3日を経過しても合格結果が届かない場合は入試広報部までお問い合わせください。なお合格に関する電話等でのお問い合わせには一切応じられません。

■入学手続期間

器楽コース / 声楽コース / グローバル教養コース

平成31年2月9日（土） ～ 平成31年3月5日（火）

演奏家コース

平成31年2月15日（金） ～ 平成31年3月5日（火）

※合格結果通知時に入学手続に関する書類をご案内します。なお上記手続期間内に6ページ記載の入学金と施設設備資金を納付していただきます。

■出願書類

- (1) 入学願書
- (2) 個人調書
- (3) 専門実技曲目記入票 ※志望コースにより書式が異なります。
- (4) 受験票
- (5) 出身大学学長または出身短期大学学長発行の「成績証明書」および「単位取得証明書（見込み含む）」

■取得できる資格等

- (1) 卒業した者には学士（芸術学）の学位が与えられます。
- (2) 教職課程科目を履修し、所定の単位を取得した者には、中学校教諭一種免許状（音楽）及び高等学校教諭一種免許状（音楽）が与えられます。

■併願について

演奏家コース志願者は、演奏家コースと同一の専門に限り器楽コースあるいは声楽コースとの併願ができます。併願を希望する者は、入学願書の所定の欄にチェックすること。

入学金 / 学納金 / 奨学金等

■入学金・学納金等（平成30年度参考金額） 平成31年度の金額は平成30年12月中旬に決定します。

入 学 金	200,000 円
施設設備資金	400,000 円
授 業 料	(年額) 1,345,000 円 (演奏家コースは1,545,000 円)
一 般 維 持 費	(年額) 170,000 円
諸 会 費	(年額) 26,300 円 (後援会費18,000 円、学友会費6,300 円、恵声会入会基金2,000 円、ただし恵声会入会基金は本学短期大学部音楽科卒業生には課せられない。)
学 生 諸 費	(年額) 3,800 円 (各種演奏会鑑賞代、レントゲン代、緊急連絡サービス加入代等) ※1

教職課程を履修希望する二種免許状（教科 音楽）取得者は、別途教職課程履修費 30,000 円（年額）が必要となります。新規取得希望者は 60,000 円（年額）となります。納付期日や納付方法については入学後のガイダンスにてお知らせいたします。

【注意】上記の入学金と施設設備資金以外の学納金は、平成31年4月15日（月）までに納付してください。また、半期ずつの二期分納が可能です。この場合残りの半額は平成31年10月15日（火）までに納付してください。

※1 平成31年4月15日（月）までに一括で納付してください。鑑賞する演奏会の種類の増減、各費用の料金の改定等により、金額に変更が生じることがあります。

卒業年次に同窓会基金として16,000 円を別途納付していただきます。

入学金および施設設備資金以外の費用に関し、在学期間中毎年スライド方式によって改訂されることがあります。スライド制の基準は、人事院勧告などの機関によって発表される数値を参考として決定します。上記入学金・学納金等は、本学学生として必ず納付していただくものであり、いずれの項目も任意で納付を拒むことはできません。

■入学辞退

入学を辞退される方は、入試センター（03-3842-1024 直通）へご連絡ください。

「入学辞退に関する書類」を郵送します。必要事項を記入し、平成31年3月22日（金）15時までに提出（郵送可、必着）してください。書類確認後、施設設備資金（400,000 円）を返金します。ただし、出願書類と入学金（200,000 円）は、事情の如何に関わらず返却・返金はいたしません。

■特待生制度（演奏家コースのみ）

種 類	人 数	特待生内容
特待生S	原則 1名 以内	入学金・授業料・施設設備資金、年額免除
特待生A	原則 2名 以内	授業料年額の半額免除、一般維持費年額免除
特待生B	原則 3名 以内	授業料30万円免除
特待生C	評価の範囲以内	入学金免除

特待生は、学年末専門実技試験の結果を以って次年度の特待生を選出します。

3年次は入学試験で、4年次は進級前年度末の選考試験で決定します。

特待生SおよびCの場合、入学手続き時に一旦入学金を納付いただき、入学後に手続きを経て減免を実施します。

特待生Aの場合、後期分の授業料を減免します。

特待生Bの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消しとなり、入学年度に遡及し免除された授業料等を返金していただきます。

- ・学業成績不良
- ・素行不良
- ・遅刻、欠席が多い
- ・休学または退学

■学生寮

大学に在籍、または入学手続きを済ませた遠方出身者で、自宅からの通学が不可能と判断される者を対象とします。入学試験での専門実技試験の成績を参考に審査をします。学生寮管理担当者との面接を行う場合があります。

■日本学生支援機構の奨学金

奨学金の種類 ①第一種奨学金（無利息）

②第二種奨学金（利息付）

※第一種奨学金と第二種奨学金の併用は、採用枠に限りがあります。

貸与月額

第一種奨学金では、学種別・設置者・入学年度・通学形態別に定められているほか、2万円・3万円・4万円より選択することもできます。

第二種奨学金では、自宅・自宅外にかかわらず下記の月額から選択でき、希望により、採用された年度の4月に遡って借りることができます。貸与期間中に必要に応じて、貸与月額を変更することもできます。

平成30年度 入学者の貸与月額

	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金	54,000円	50,000円、64,000円から選択
	20,000円、30,000円、40,000円から選択	
第二種奨学金	20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、60,000円、70,000円、80,000円、90,000円、100,000円、110,000円、120,000円から選択	

■各種教育ローン

項目	国の教育ローン	みずほ銀行教育ローン	オリコ学費サポートプラン
取扱機関	株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業	株式会社みずほ銀行	株式会社オリエントコーポレーション
申込者	(原則) 保護者	保護者	保護者
対象	入学金・授業料等学納金など	入学金・授業料等学納金	入学金・授業料等学納金
年収要件	子どもの人数により要件が異なります。詳しくは取扱機関にお問い合わせください。 (子どもの人数が1人の場合、世帯の年間収入が給与所得者790万円以内、事業所得者590万円以内)	前年度収入200万円以上で安定かつ継続した収入のある方	安定した収入のある方 ※年収・勤続年数の制限はございません。
申込方法	店頭、郵送、インターネット	店頭、郵送、インターネット	インターネットもしくは郵送
返済方法	通常払(元利均等払) 元金措置払い	通常払い/元金措置払い	通常払い/元金措置払い/親子リレー返済
保証	(公財)教育資金融資保証基金または連帯保証人(学生の4親等以内の親族)	原則不要	原則不要
手続期間	20日程度	1週間～2週間	1週間 ※Web申込の場合審査は原則1日
借入金の振込	お客様の口座へ振込	学校指定の口座へ振込	学校指定の口座へ立替
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> ・本人確認資料 ・住民票の写し(原本) ・保護者様の源泉徴収票または確定申告書(控) ・住宅ローン(または家賃)と公共料金のお支払いを確認できる預金通帳(最近6カ月以上) (在学費用の場合) ・在学を確認できる書類 ・お使いみちを確認できる書類 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人確認資料 ・収入証明書 ・納付通知書 ※支払済である場合は領収書など(支払後1カ月以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生証の写し ・納付通知書の写し

※申込用紙・パンフレット等は、大学事務部に用意しています。各ローンの詳細は、パンフレット等に記載されている各社にお問い合わせください。

試験科目 詳細について

■全コース共通の試験科目について（10 ページ参照）

以下の①②③④は、全コース共通の試験科目となります。

①ソルフェージュ※

②音楽理論

③副科ピアノまたは副科器楽※

④面接

※文化創造マネジメント専門は除く

■各コース・各専門の試験科目について（11 ページ～14 ページ参照）

- 1、専門実技に関しては試験官の指定した曲のみを演奏させることや、演奏させることや、演奏を途中でカットする場合があります。楽譜の譜めくりは受験者自身で行うこと。
- 2、専門実技曲目記入票に記入した演奏曲の楽譜を1部ずつ用意し、試験当日持参すること（出願書類と一緒に提出しないこと）。なお楽譜はコピーで構わない。
- 3、適性を判断するために、口頭により2～3の諮問を行うことがある。

■グローバル教養コース・文化創造マネジメント専門「個性表現」について

個性表現とは、自分自身が最も得意とする表現（身体表現、楽器演奏、過去の顕彰、活動実績など）のプレゼンテーションを言います。所要時間5分以内で実施してください。

《具体例》

楽器演奏、ダンスの披露等のパフォーマンス、映像作品の紹介、ボランティア活動の報告、特技に関わる証明書（各種検定資格等）を携えての自己PR、等。

《本学で用意できる機器類》

オーディオ機器、パソコン、プロジェクター、書画カメラ、スクリーン、大型楽器

※上記機器類の使用を希望される方、また、自身で手配される方はその旨、事前にご連絡ください。

（連絡先：上野学園大学入試センター 03-3842-1024）

課題曲発表時期について

演奏家コースの課題曲（試験1か月前発表）については、本学ホームページにて平成30年12月に発表を予定しています。

課題曲問い合わせ先：入試センター（03-3842-1024 直通）

全コース共通の試験科目について

①ソルフェージュ、②音楽理論、③副科ピアノ / 副科器楽、④面接は、全コース共通の試験科目となります。また各コース・各専門の試験科目（専門実技等）については、11 ページより確認してください。

科 目	志望コース	楽 器	試験内容
① ソルフェージュ	全コース 文化創造マネジメント 専門の志願者は除く	—	聴音（12 小節程度の単旋律聴音）
② 音楽理論 (所要時間 60 分)	全コース 文化創造マネジメント 専門の志願者は除く	—	和声（転調のないソバス課題。長調と短調各 1 題ずつ）。
③ 副科ピアノ ※副科ピアノは、演奏曲目を【専門実技曲目記入票（副科ピアノ / 副科器楽記入欄）】に明記すること。	●器楽コース ピアノ ギター オルガン チェンバロ の志願者は除く ●声楽コース	ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> 音階：＃、♭それぞれ 1 つから 2 つまでの調より、一組の平行調を当日指定する（Hanon No.39 による）。カデンツも含む。 J.Haydn,W.A.Mozart,L.van Beethoven の任意のソナタ 1 曲の第 1 楽章または終楽章、あるいは同程度の楽曲。 【注意】 全て暗譜。繰り返しは省略。
③ 副科器楽 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハープ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、打楽器〔小太鼓またはマリмба〕、オルガン、チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、リコーダーのいずれかで受けることができる。 ※副科ピアノ / 副科器楽は、演奏曲目を【専門実技曲目記入票（副科ピアノ / 副科器楽 記入欄）】に明記すること。	●グローバル 教養コース 文化創造マネジメント専門 の志願者は除く	ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> 音階：＃、♭それぞれ 1 つから 2 つまでの調より、一組の平行調を当日指定する（Hanon No.39 による）。カデンツも含む。 任意の《ソナチネ》または《ソナタ》の第 1 楽章あるいは終楽章、または同程度の楽曲。 【注意】 全て暗譜。繰り返しは省略。
		弦楽器 管楽器 打楽器	任意の 1 曲。
		オルガン	J.S.Bach より任意の 1 曲。
		チェンバロ	J.S.Bach より任意の 1 曲。
		ヴィオラ・ダ・ガンバ	D.Ortiz 《Tratado de glosa》(Barenreiter684) より《Recercada Segunda》。
		リュート	P.Attaignant 《Besse-danse”Patience”》(楽譜が必要な者は、返信用封筒〔92 円切手貼付〕同封のうえ上野学園大学入試広報部宛に請求すること)。
		リコーダー	H.M.Linde 《Neuzeitlicheubungsstucke fur die Altblockflote》(Schott4797) より第 11、12 番。
③ 副科ピアノ ※副科ピアノは、演奏曲目を【専門実技曲目記入票（副科ピアノ / 副科器楽 記入欄）】に明記すること。	●演奏家コース ピアノ ギター オルガン チェンバロ の志願者は除く	ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> 音階：＃、♭それぞれ 1 つから 2 つまでの調より、一組の平行調を当日指定する（Hanon No.39 による）。カデンツも含む。 J.Haydn,W.A.Mozart,L.van Beethoven の任意のソナタ 1 曲の第 1 楽章または終楽章、あるいは同程度の楽曲。 【注意】 全て暗譜。繰り返しは省略。
④ 面接	全コース	—	

各コース・各専門の試験科目について

各コース・各専門における試験科目については、それぞれの下表の①・②・③すべてを演奏すること（専門によっては①のみ、①・②などの場合あり）。

※楽譜の譜めくりは受験者自身で行うこと。

■ [A] 器楽コース [B] 声楽コース [C] グローバル教養コース 試験科目

コース	専 門	試験科目
[A] 器楽 コース <small>※演奏曲目を【専門実技曲目記入票 [1]】に明記すること。</small>	(a) ピアノ専門	①J.S.Bach 《平均律クラヴィーア曲集 Das Wohltemperierte Klavier》第1巻、第2巻より任意のフーガのみ1曲。 ②自由曲（ただし練習曲を除く）。 【注意】 全て暗譜で演奏すること。
	(b) 弦楽器専門 管楽器専門	①任意の練習曲1曲。 ②任意の1曲（ただし練習曲を除く）。 【注意】 全て伴奏無し。
	(c) 打楽器専門	①小太鼓で受験する場合 ①1,2,5,9 打ちの各基本奏法を当日指定して小太鼓で行わせる。 ②任意の1曲（練習曲を含む）。 ②マリimbaで受験する場合 ①音階（長音階、短音階、当日指定する）。 ②任意の1曲（練習曲を除く）。 【注意】 ②は伴奏無し。①、②いずれで受験するか入学願書に明記すること。
	(d) オルガン専門	①J.S.Bach の任意の《前奏曲とフーガ》1曲。 ②試験当日簡単な通奏低音（Generalbass）を指定し、演奏させる。
	(e) チェンバロ 専門	①W.Byrd, J.P.Sweelinck, G.Frescobaldi, L.Couperin の作品より任意の1～3曲（演奏時間10分程度） ②J.S.Bach 《平均律クラヴィーア曲集 Das Wohltemperierte Klavier》第1巻、第2巻より任意の《前奏曲とフーガ》1曲。ただし第1巻 No.2, No.10, No.11を除く。 ③当日簡単な通奏低音（Generalbass）を指定し演奏させる。
	(f) ヴィオラ・ ダ・ガンバ 専門	①D.Ortiz 《Tratado de glosas》（Barenreiter684）より《Recercada Primera》（p.52） ②M.Marais の任意の組曲の中から3曲。 【注意】 ②は伴奏無し。
	(g) リュート専門	①J.Dowland 《Lachrimae Pavan》
	(h) リコーダー 専門	①G.Ph.Telemann 《Der getreue Musikmeister》（Hortus musicus 6, Barenreiter）より<ソナタ>ハ長調 第1楽章および第2楽章。 ②G.F.Handel 《ソナタ》イ短調 Op,1 No.4 第1楽章および第4楽章。 【注意】 全て伴奏無し。

<p>〔B〕 声楽コース</p> <p>※演奏曲目を【専門実技曲目記入票〔2〕】に明記すること。</p>	<p>声楽専門</p>	<p>①任意のドイツ歌曲1曲。 ②自由曲1曲。 【注意】①②とも、原語にて、暗譜で演奏すること。伴奏楽譜2部を入学願書に添えて提出すること。伴奏者は本学で手配する。</p>
<p>〔C〕 グローバル 教養コース</p>	<p>(a) 音楽学専門</p>	<p>①音楽学英語：英和辞典1冊（電子辞書も可）の持ち込みを許可する。（60分） ②音楽学小論文：音楽関係の題目を当日出題する。（60分） ③音楽学面接</p>
	<p>(b) 音楽教育専門</p>	<p>①音楽教育小論文：音楽教育関係の題目を当日出題する。（60分） ②音楽教育面接</p>
	<p>(c) 文化創造 マネジメント 専門</p>	<p>①英語。（60分） ②文化創造マネジメント小論文（60分）または個性表現〔詳細は9ページ参照〕。 ③文化創造マネジメント面接 【注意】②の選択科目を入学願書に明記すること。</p>

■ **〔D〕 演奏家コース 試験科目**

各専門における試験科目については、下記の①または②のいずれかを選んで演奏すること。いずれの課題を選択するか「専門実技曲目記入票」にチェックすること。

演奏家コースには「特待生S」「特待生A」「特待生B」「特待生C」の設置があり、今回の入学試験と選考を兼ねる。特待生選考を希望する者は、必ず①の課題で受験すること。

コース	専門	試験科目
<p>〔D〕 演奏家コース</p> <p>右記の「①」「②」のいずれかを選んで演奏すること。</p>	<p>(a) ピアノ専門</p>	<p>①下記の課題すべて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験1か月前発表の課題曲（9ページ参照）。 ・J.S.Bach：パルティータ 第2番 ハ短調 BWV826 全曲、またはトッカータ 第3番 ト短調 BWV915 ・F.Chopin：エチュード [Op.10 または Op.25] より1曲（ただし Op.10-3、10-6、10-9、25-1、25-2、25-5、25-7を除く）。 ・F.Liszt：[超絶技巧練習曲またはパガニーニ大練習曲]、ドビュッシー、ラフマニノフ、スクリャービン、プロコフィエフ、バルトークのエチュードより1曲。 ・20～25分程度の自由曲（1曲でも複数でも可）。 <p>②下記の課題すべて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験1か月前発表の課題曲（9ページ参照）。 ・J.S.Bach：パルティータ 第1番 変ロ長調 BWV825 よりアルマンド、クーラント、サラバンド、ジグ、またはトッカータ 第2番 ホ短調 BWV914 ・F.Chopin：エチュード [Op.10、Op.25、3つの新練習曲]、リスト [3つの演奏会用練習曲、2つの演奏会用練習曲]、ドビュッシー、バルトークのエチュードより1曲。 ・12～16分程度の自由曲（1曲でも複数でも可）。 <p>【注意】・暗譜で演奏すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しは原則として省くが、音楽的に必要と認められるものはこの限りではない。 ・なお専門実技曲目記入票の演奏時間欄には、実際の演奏時間を記載すること。

<p>(b) 弦楽器専門</p>	<p>①・任意の協奏曲全楽章または、それに準ずる作品。 ・自由曲1曲（無伴奏作品、ソナタ、小品他）。 ②・任意の協奏曲（緩徐楽章を除く、任意の楽章のひとつ、または、それに準ずる作品。カデンツァがある場合はカデンツァを含む）。 ・自由曲1曲（無伴奏作品、ソナタ、小品他）。 【注意】暗譜で演奏すること。</p>
<p>(c) 管打楽器専門</p>	<p>①・試験1か月前発表の課題曲（9ページ参照）。 ・任意の協奏曲全楽章。 ・任意の室内楽曲作品1曲。 ②・試験1か月前発表の課題曲（9ページ参照）。 ・任意の協奏曲全楽章。 ・任意の室内楽曲作品から1つの楽章。 【注意】・「任意の協奏曲」を選択するのが難しい場合には、「協奏曲に準ずる作品」から選ぶこと。 ・フルートについて、伴奏者は本学で手配する。 ・伴奏者との打ち合わせの時間を別途もうける。</p>
<p>(d) ヴィオラ・ ダ・ガンバ 専門</p>	<p>①・試験1か月前発表の課題曲（10分程度、9ページ参照）。 ・30分程度のリサイタル・プログラム。 ・室内楽（通奏低音付きの声部または器楽独奏曲の通奏低音の声部を演奏すること）。 ②・試験1か月前発表の課題曲（5分程度、9ページ参照）。 ・15分程度のリサイタル・プログラム。 ・室内楽（ヴィオラ・ダ・ガンバの独奏を含む室内楽作品を演奏すること）。</p>
<p>(e) オルガン専門 チェンバロ専門 リュート専門 リコーダー専門</p>	<p>①・試験1か月前発表の課題曲（10分程度、9ページ参照）。 ・30分程度のリサイタル・プログラム。 ・室内楽（曲目は自由）。 ②・試験1か月前発表の課題曲（5分程度、9ページ参照）。 ・15分程度のリサイタル・プログラム。 ・室内楽（曲目は自由）。</p>
<p>(f) 声楽専門</p>	<p>①・30分程度のリサイタル・プログラム（ドイツ歌曲を含む）。 ②・20分程度のリサイタル・プログラム（ドイツ歌曲を含む）。 【注意】・原語にて、暗譜で演奏すること。 ・伴奏者は本学で手配する。 ・伴奏譜2部を入学願書に添えて提出すること。 ・伴奏者との打ち合わせの時間を別途もうける。</p>

専門の変更を希望する者の受験について

入学後の専門は、原則として出願資格を満たす出身大学または短期大学に在籍していた際の専門／専攻と同一のものとしします。ただし、下記の表に定める専門／専攻の変更については、受験を認めます。

なお専門／専攻を変更して器楽コースまたは演奏家コースを受験する場合は、変更前の楽器で「各コース・各専門別の試験科目について（11～13 ページ）」に記されている当該楽器の試験科目を受けること。

※全コース共通の試験科目については 10 ページを参照のこと。

出身大学・短期大学 在籍中の専門／専攻	専門変更での受験を認めるコース（専門）
器楽 / 声楽	グローバル教養コース（音楽学専門）
	グローバル教養コース（音楽教育専門）
ピアノ	器楽コースまたは演奏家コース（オルガン専門）
	器楽コースまたは演奏家コース（チェンバロ専門）
ヴァイオリン	器楽コースまたは演奏家コース（ヴィオラ専門）
	器楽コースまたは演奏家コース（ヴィオラ・ダ・ガンバ専門）
チェロ	器楽コースまたは演奏家コース（コントラバス専門）
	器楽コースまたは演奏家コース（ヴィオラ・ダ・ガンバ専門）
コントラバス	器楽コースまたは演奏家コース（ヴィオラ・ダ・ガンバ専門）
金管楽器	器楽コースまたは演奏家コース（別の金管楽器専門）
オルガン	器楽コースまたは演奏家コース（チェンバロ専門）

■ 「個人情報の取扱い」について

上野学園大学「個人情報保護に対する基本方針」 平成30年5月1日

上野学園大学（以下「本学園」という。）は、本学園業務に関連し、個人情報保護の重要性に鑑み、下記のとおり個人情報保護方針を定め、個人情報の保護に努めるものとする。

記

本学園は、個人情報について、関係法令その他の規範および本学園策定にかかる各種規程等の定めるところに従い、本学園において業務に従事する全ての者に対してその周知・徹底を図り、適切にこれを取り扱う。

1. 個人情報の適切な収集、利用、提供、委託

一. 個人情報の収集に当たっては、利用目的を明示した上で、必要な範囲の情報を収集し、利用目的を通知または公表し、その範囲で利用する。

二. 収集した個人情報は、次の場合を除き、第三者に提供または開示することを行わない。

(1) あらかじめ本人の同意を得た場合

(2) 個人情報の保護に関する法律第23条第2項（オプトアウト）、同条第4項（共同利用）の方法による場合

(3) 法令等の規定に従い、提供または開示する場合

三. 個人情報を第三者に委託して利用する場合は、当該第三者における安全管理措置の状況等に照らし、委託を行うことの適切性を検討するとともに、当該第三者との間で秘密保持契約を締結した上で提供するなど、委託先への適切な監督を行う。

2. 個人情報の安全管理措置

収集した個人情報への第三者からのアクセス、個人情報の紛失、改ざん、漏洩、毀損等を防止するため個人情報の適切な管理に努めます。

その目的のため、「個人情報保護委員会」を設置し、個人情報の適切な管理に取り組みます。

3. 開示、訂正請求等への対応

本人から個人情報の開示、訂正、追加または削除、利用停止等の要望があった場合の窓口は、総務統括部とし、諸規定に準拠して妥当な方法でこれに対応する。

4. 苦情の処理

本学園は、個人情報の取扱いに関する苦情に対し、適切かつ迅速な処理に努める。

個人情報の保護について

1. 個人情報の利用目的

本学園で取り扱う個人情報は、教育研究および学生等の支援等に必要な業務を遂行するために合法かつ適切な方法で収集し利用しますが、収集する場合はあらかじめ利用目的を明示するとともに必要な範囲内に留め、収集した情報は、以下の目的のために利用し、それ以外に利用することはありません。

2. 個人情報の利用

収集した個人情報は、次の業務に利用します。

(1) 入学等に関する業務

(2) 学籍等に関する業務

(3) 授業等に関する業務

(4) 各種証明書等の発行に関する業務

(5) 各種調査報告・申請等に関する業務

- (6) 教育実習・介護等体験に関する業務
- (7) 教員免許状申請に関する業務
- (8) 学費等の収納に関する業務
- (9) 奨学金等に関する業務
- (10) 健康管理に関する業務
- (11) 図書館等の施設利用に関する業務
- (12) 各種講習会等に関する業務
- (13) 演奏・公演・研究発表等への出演の推薦に関する業務
- (14) 留学等の各種情報の提供に関する業務
- (15) 学生等の生活(寮生活を含む。)指導等、福利厚生、課外活動、進路指導および就職支援等に関する業務
- (16) 保護者等への学生等の修学指導、成績通知等に関する業務
- (17) 卒業・成績・在籍証明等、卒業生等に関する業務
- (18) 補助金に関する業務
- (19) 教職員の人事・労務管理に関する業務
- (20) 印刷、情報処理等の部外委託に関する業務
- (21) 本学園からのご案内やお知らせ、アンケートの送付
- (22) 学校法人上野学園からのご案内やお知らせ、アンケート等の送付

3. 個人情報の提供

本学園では、個人情報を前項の目的で利用するほか、法令に規定がある場合および学生・保護者等の事前同意がある場合を除き原則として下記の業務以外の場合は、第三者には個人情報を開示いたしません。

- (1) 本学園の業務運営上必要とする保護者等への学生等の修学指導および成績等の提供
- (2) 奨学金の申請等に伴う外部機関への提供
- (3) 演奏・公演・研究発表等への出演の推薦に伴う外部機関等への提供
- (4) 本学園同窓会への卒業生等の氏名、学籍番号、学部学科および専攻名等の提供
- (5) 業務の部外委託に伴う提供

4. 個人情報の開示、訂正請求等のお問い合わせ先

本学園が保有する個人情報に関して、開示、訂正請求等のお問い合わせをする場合は、下記へお願いします。

学校法人上野学園総務人事部

住所: 〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12

TEL: 03-3842-1021 (代)